

令和3年度



校長室だより4月号 No.1

宝達志水町立押水第一小学校 R3.4.15



桜のつぼみが開き始めたころ12名の卒業生が本校を巣立ちました。そして、6名の新1年生を迎え、令和3年度が始まりました。現在日本は少子高齢化といわれています。今年度は、全校児童数が昨年度より6名減り63名でのスタートです。学校規模がますます縮小方向に向かっていますが、子どもたちはとても元気です。大変ありがたいことです。

5日、子どもたちは始業式・入学式を終え、新たな気持ちで1つずつ進級したと思います。大きな期待をもち、ちょっぴり不安も抱えながらも、新しい一歩を踏み出したことでしょう。そんな子どもたちを全教職員で見守っていきます。

さて、本校の教育目標は「確かな学力」「感動」「丈夫でかしこい子」の3つです。その具現化を目指し、教職員一丸となって取り組んでまいります。目指す児童像は、「丈夫でかしこい子」です。社会を取り巻く環境が激しく変化する現代をたくましく生き抜き、新しい時代で活躍する児童を育てていきます。また、子どもたち一人一人のよさや可能性を伸ばしながら、子どもたちにとってやりがいのある、居心地のよい学校にしていこうと考えています。

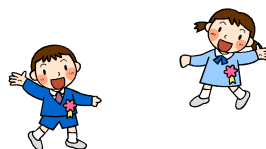
「子どもの学びを大切にする学校」「ありがとうがあふれる学校」「失敗が許され、チャレンジする意欲がわく学校」「明るく活気がある学校」の実現を今年度石川県から道徳推進校として指定を受けたことで全職員協働で目指します。昨年度、保護者・児童を対象に実施した本校の教育についてのアンケートの結果や、学校評議員の皆様にご協力いただいた学校評価は、本校の学校説明会でお知らせしました。いただいた御意見も考慮して、令和3年度の学校経営計画を立てました。この計画に基づき、本校の教職員は一人一人の持ち味を生かした組織力を発揮して、「チーム第一」として地道に教育活動を積み重ねていきます。

しかしながら、今年度も、感染症予防対策を講じながらの学校運営になります。子どもたちの心身両面の健康を注意深く見守りつつ、「宝達志水町における新型コロナウイルス感染症対策」に基づき、子どもたちのためにできることを工夫しながら教育活動を進めていきます。

残念ながら全国的には、まだまだ感染拡大傾向が収まる様子が見られません。こんなときこそ、連携・協力することが必要です。地域や保護者の皆様とも十分に話し合い、学校にかかわるすべての方々と一緒に力を合わせて、「地域の宝」である子どもたちを見守り育てていきたいと考えています。今年度もこれまでと変わらぬ御支援と御協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます

4月5日、この日を待っていたかのように校庭の桜が咲き誇るなか、始業式及び入学式が行われました。新入生6名（男子2名、女子4名）を迎え全校児童63名と教職員18名で、希望と期待にあふれた令和3年度がスタートしました。



新しい教室に入った子どもたちは、「今年もがんばるぞ」という表情で、目がキラキラ輝いていました。この様子を見て、私たち教職員は、子どもたちの期待に応えられるよう決意を新たにしました。

さて、前ページでも記述しましたが、学校経営方針は、下記のように基本的には、昨年度を継続するつもりです。まず、児童の生命・安全を第一に考え、取り組みます。その際、学校だけでは十分でない点もありますので、どうぞ、保護者、地域の皆様方のご協力をお願いいたします。

また、学力の向上はもちろんですが、教育の基本である『人格の完成』に向け、「知・徳・体」のバランスの取れた教育実践をしたいと考えておりますので、昨年度同様、保護者、地域の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

—令和3年度 学校経営方針—

〔校 訓〕 強く 正しく 美しく

〔学校教育目標〕 確かな学力 感動 思いやり

〔めざす児童像〕 丈夫でかしこい子



〔今年度の重点目標〕

重点目標を次の7点に絞り、具体的に経営を進めてまいります。

＜重点1＞確かな学力の育成について

- ・学習ルールやスキルの徹底
- ・「主体的・対話的で深い学び」定着に向けた授業の改善
- ・学力向上マップの共通理解と活用
- ・補充学習・家庭学習の充実・徹底
- ・生徒指導の3機能（共感的理解・自己決定・自己存在感）を生かした学習活動の推進



＜重点2＞豊かな心の育成

- ・道徳科の充実
- ・他者と協働できる児童の育成
- ・対人関係を構築できる指導
- ・感動体験の充実

＜重点3＞チーム学校力の充実に向けて

- ・職員の専門性を伸ばすことのできる職場づくり（OJTメンター）
- ・教職員が役割と責任を自覚し、職責を完結できる校務運営（適材適所の配置）
- ・専門性を持つ外部人材の活用

- ・機能的なスタッフ会議の運営（短時間で能率の良い運営）

＜重点4＞家庭・地域との連携に向けて

- ・学校運営について家庭・地域からの情報を真摯に受け止め、学校運営に生かす。
- ・学校の運営状況を各種会議やホームページ、学校便り、学級だより等で伝え、説明責任を果たす。
- ・地域や関係機関の人材を含めた学習資源を有効に活用し、教育活動を行う。
- ・家庭・地域との協働で安心安全の環境づくりを行う。

＜重点5＞場に応じた表現力（パフォーマンス力）が身につく指導

- ・学習内容を発表することを前提とした授業づくりをする。
- ・全校で、保護者の前で、地域で表現する場を意図的に設ける。
- ・相手意識を持った表現活動ができるよう取り組みを行う。



＜重点6＞新学習指導要領の完全実施にむけて

- ・PDCA サイクルに基づいた学校運営を行う。
- ・新学習指導要領で求められている内容（外国語・プログラミング教育等）に積極的に取り組む。

＜重点7＞若手職員の指導力向上

- ・計画的な校内 OJT と日常的なアドバイスをを行う。
- ・若手とベテランのバディシステムによる育成を進める。

地域の皆様、保護者の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。職員も全力で取り組みます。

【令和3年度職員組織】 よろしくお願ひします



校長	松本 猛	本校3年目	すみれ担任	大岡 敏幸	本校2年目
教頭	村田真紀子	本校2年目	ひまわり担任	金山 寿恵	新規採用職員
1年担任	九笹 裕美	本校5年目	級外	上端 和子	相見小学校より
2年担任	松本 栞	本校2年目	級外	山下 哲平	新規採用職員
3年担任	茶木 聡美	本校4年目	養護教諭	山崎 千尋	本校2年目
4年担任	弘灰みなみ	本校2年目	臨任事務	禧美 和子	本校2年目
5年担任	仲島 健太	本校4年目	支援員	前田 美紀	本校6年目
6年担任	上杉 徹	本校3年目	支援員	立中 詠子	新規採用職員
通級指導	稲葉 真也	本校2年目	用務員	堀 千恵子	本校4年目

4月はじめの学校の様子

4月の恒例行事（入学式）



新入生の行事（はじめての給食・下校指導）



1年生自己紹介（校長室・職員室）



学校支援ボランティア「思いやり隊」の会員を募集します！

約20年前に発足し、長い間本校の教育活動にご理解・ご支援を頂いている学校支援ボランティア思いやり隊の会員数が、年々減少しています。子どもたちが安全に楽しく学校生活を送れるように、家庭と地域と学校が一体となって、未来を担う子どもたちのために、「できることを、できるときに、できるところで」の精神で、是非ご協力をお願いいたします。会員になって頂ける方は、学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

